

県職員になり半年間を振り返って

田川県土整備事務所
技師 原田 慎治

田川県土整備事務所に配属になり、半年が過ぎました。あっという間でした。時間が足りないくらいあっという間でした。ここで、これまでの半年間を振り返ろうと思います。

私が、田川県土整備事務所に配属されて、まず初めに任された仕事は県道の除草工事でした。

今まで、学校での勉強をおろそかにし、遊んでばかりいた私は、先輩方ならあっという間に片付ける除草の工事一つを終わらせるにも多大な時間を費やしていました。一歩進んだかと思うと五歩さがるといったことが多々あり、終わるものもなかなか終わらない状況が続きます。

しかし、私もまったく学習しないわけではありません。数をこなすにつれて工事を発注してから完了するまでの一連の流れがわかるようになり、これならどんな工事でも大丈夫だろうという錯覚に陥りました。そして、他の工事も除草とたいした違いはないだろうと高を括っていたのです。

ところが、いざ舗装補修工事の発注に取り掛かると、まったくもって何から手を出していいのかわからず、歩掛の使い方や積算の根拠探しなど課題が山積みでした。そのため、毎日のように先輩を悩ませ、上司を怒らせてしまったことを今でも忘れることはできません。

私は、この半年間の業務を通して多くのことを学びました。

一つ目は、すべてが時間との戦いだということです。工事には、工期があります。工期に間に合わせて終わらせるためには、何事にも先に先にと先手を打って行動することが大切だとわかりました。

二つ目は、業務の優先順位付けが大事だということです。業者さんや住民の方との協議や立会、現場調査などやらなければならないことが沢山あります。そのなかで、何が最優先で、何を後回しにできるかなどを自分なりにしっかりと考えながらスケジュールを立てることが重要だとわかりました。

学んだことは多いのですが、実はそれ以上に失敗したことの方が多いのです。ここで私の反省の気持ちを込めて、日ごろの自分の失敗とそれから学んだことについて述べたいと思います。

まず、一番多い失敗が、同じようなミスを繰り返すことです。特に私の場合は、「①何かを頼まれる・注意される、②何もメモせずにはわかった気である、③やるのを忘れている、もしくは注意されたことを忘れて同じ失敗をする」という流れが多いのです。私も頭では、何をしなければならないかや、どう処理すべきかなど考えているつもりですが、私の少な

いメモリーでは、覚えることや処理することには限界があります。しかも、覚えることが苦手ということを知っているのにメモすら取らないという最悪な状況です。今後は、すぐにメモを取る癖をつけていくつもりです。

次に多い失敗は、スケジュール管理ができず、毎回ぎりぎりバタバタと仕事をして、問題が起きた時に、「時すでに遅し」という状況がよくあります。目先のことばかり気を取られ、後のことを考えて行動せず、結局最後は、係長や先輩の方々に迷惑を掛けるという結果になります。今後は、きちんとスケジュール管理を行い、余裕をもって業務を処理していくつもりです。これらを実行することで、上司や先輩方にあまり迷惑を掛けないよう心掛けていきます。

最後に、今後の目標についてですが、最大の目標は、口もガラも悪い係長や鬼瓦のような課長を怒らせないことです。

このためには、①同じ失敗を繰り返さない。

②失敗はごまかしたり、隠したりせず、教訓として次に活かす。

③行程管理や安全管理に気を配り、きちんと業務を管理する。

人は失敗を経験として成長するものだと思えます。これまで何度同じ失敗をしても見放さず、本気で怒ってくださったり、温かい目で見守ってくださる課長や係長、先輩方の期待に応えられるよう、今以上に努力していこうと思います。